

2016年7月例会 外山啓介 ピアノリサイタル 感想集



2016年8月4日(木)

米子市文化ホール

♪ アンコール曲・・・ショパン:ワルツ第9番変イ長調 Op.69-1

♪ プレゼント・・・コーヒーセット

右手だけの演奏でも、すごく聞かせていてあこがれます。ペダルは私は、左をずっと上においておくと思っ
ていて、練習の時はいつも上においたままです。でも、啓介さんは一回一回下げていて（ペダルから足をは
なして）お手本になります。知っている曲はいろいろありましたが、メロディーの所の音は、よくひび
いていてすごいと思いました。まねしたいです。こもった音がなくてすごいと思いました。速い所はくるわ
ずに、流れるようにすばやくてびっくりしました。アルペジオみたいな所もすごく速くてびっくりしました。

エンジョイ C

最後のバラードがザ・リストといった
感じで大変聴きごたえがあった。
こういう演奏が聴けるのが労音の醍醐味か。

匿名希望



素晴らしい演奏に感動しました。選曲も言うことなし！！別の演奏会でいただいた案内（チラシ）を見て必ず
聴きに行く！！と思いました。この素晴らしい演奏を満席、立ち見（聴）で聴きたかったですね。
マナーについては演奏者の気持ち聴き手の気持ちが一体になっていないことを残念に思いました。意外にも
小さな人が立派に聴いていたように思いました。

初めて聞いたピアニストだが実力派とお見受けしました。私事、去年11月から自身の体に故障があり、快
気祝にと久しぶりにコンサートに出かけました。CDと違い生のピアノの音にいやされました。今夜は good
sleeping となります。ともかくリストの技巧に満ちた曲を聞かせてもらいウームと納得しました。

カスカーダ C

ゆっくりの曲想での独特な間（感情移入）や
大きな体、手から醸し出される力強さを
楽しませてもらいました。
最後のトークも好青年らしさがでていました。

名前を覚えておきます。感動しました。



外山さんの演奏は初めてでしたが素晴らしい演奏でした。特にテンペスト第3楽章が好きです。会員の方でしょうか携帯は鳴らす、レジ袋の騒音、とても気になり途中演奏に集中できないくらい、演奏家、聴きにいられている方に非常に失礼です。エチケットが守られないのは山陰、特に鳥取の方だとよく耳にするのが悲しく思います。

演奏会第1曲目の「月光」。例外的に長い長い沈黙のあと第1楽章が始まりました。我々聴衆は固唾を飲み、嫌が応でも曲の世界に集中します。もともとアダージョなのですが、かなりゆっくり目なテンポ。なおかつ低音を抑え、聴く者はいつまでも抑圧され続けます。次の第2楽章で朝日を浴びたように開放されます。そして疾走する第3楽章、僕等は外山さんによって一気にベートーヴェンの曲の世界に入り込まされていきました。

つづく「テンペスト」ではベートーヴェンの描く曲の世界は、より大きな額縁の絵のようになり、その絵の中を旅し、その世界を見聞きしてきた心地にさせられました。張り詰めた空気の第1部から、リラックスした第2部に移りました。リストは僕にとって今まで理解がむずかしかったのですが、「3つのノクターン」の演奏で、かなり近しく感じる事が出来た気がしました。アンコールのショパンの心憎い程の演奏。今日、外山さんは「ホールを聴衆ごと演奏した」のではと思いました。

クラシック・サロンC

魔法のような指づかい！見て聴いて素晴しかったの一言です。外山啓介のピアノ演奏に出逢えた感動にひたり、感謝の夜でした。

匿名希望

- 1、担当サークルではなかったが、誘われて交流会に参加した。実はイケメンと間近で話したかったのが本音。
- 2、外山さんは、真摯で礼儀正しい32才の青年だった。
- 3、幼い頃の事、音楽の道を志した頃の事、どのような気持ちで演奏しているのかなど、お話を聞いた。
- 4、交流会に参加していつも思うのだが、「音楽は人柄だ」。もっと言えば「その人の生き方が音を奏でる」と。今回もそう強く感じた。
- 5、すみずみまで気持ちの行き届いた繊細、且つ大胆な演奏の理由がわかった。
- 6、みなさん、交流会には是非参加しましょう。楽しいですよ。

西村由C

外山啓介さんは好青年でした。強面のイケメンタイプなので、「囲む会」の時どうなのかな・・・と思っておりましたが、高校生や大学生と話しているかのような初々しさまで感じました。受け答えが誠実で、大変よい印象をもちました。私のお気に入りの、彼の弾く「ムソルグスキー/展覧会の絵」のCDを絶賛したら、とっても喜んでおられたのが、忘れられません。

演奏会のプログラムの前半「ベートーヴェン/月光ソナタ」ですが、どの楽章でも、弱音部分などでのニュアンスのつけ方に（その心使いの細やかさに）感銘をうけました。音色としては全体として、水墨画的な色調ですが、ベートーヴェンの幻想にうまく合っていたと思います。

後半は、リストの舞曲物を中心としたプログラムですが、「愛の夢」の第1番とか「バラード」など、珍しい曲を聴かせていただきました。有名な「ラ・カンパネラ（鐘）」も、とても興味深く楽しく聴くことができました。私の大好きなワーグナーの「トリスタンとイゾルデ～イゾルデの愛と死」の編曲作品も聴くことができ、大変満足した気持ちの良い夜をすごすことができました。「囲む会」も含め、楽しい一夜でした！！

パパゲーナc

例会評価

♪会員数	403名（新入会：47名）
♪サークル数	52C
♪参加者数	333名（参加率：82.6%）
♪評価投票数	206名（投票率：61.8%）
♪評価点	98.9点

《担当サークル》

アンサンブル・いずみ・エンジョイ・ずっこけパンダ・大山
長谷川・パパゲーナ・ベーコンサラダ・ゆきんこ・YYフルート